

「遺伝研メソッド」による

# 科学英語プレゼンテーション出前研修

「遺伝研メソッド」とは、国立遺伝学研究所（総研大・生命科学研究科・遺伝学 専攻）で開発された科学プレゼンテーションのカリキュラムです。研究発表のトレーニングを通じて、研究者としての論理的思考力、質問や議論する能力を 培います。学会発表に限らず、面接審査、異分野融合研究などにおいても、研究者のプレゼンテーション能力の向上に成果を上げています。

6 日間の研修プログラム

12月：発表に重点を充てたプログラム（今回）  
3月上旬：質疑応答に重点を充てたプログラム（次回）

- Fundamental presentation design for optimal feedback
- Importance of the 4-part presentation "framework"
- Convey your message with topic sentences and context
- Constructive scientific dialogue & strategies for asking and answering questions
- Speaking techniques for maximum comprehension: emphasis, logical flow, effective speech patterns and scientific clarity
- Visualized data and effective presentation slides

日 時：12月5(月) 6(火) 8(木) 9(金) 12(月) 13(火)の6日間

各回 9:00～12:10

場 所：オンライン講義（zoom使用）

参加費：無料

講 師：



郷丸辰次（ゴウマル タジ）  
国立遺伝学研究所 英語専任講師

申 込：<https://ura.sec.tsukuba.ac.jp/archives/39961>

対 象：若手研究者（PD含む）で原則全ての時間に参加できる方  
大学院生および大学生の参加は、指導教員からの推薦があれば可

本研修は、文部科学省の「世界で活躍できる研究者戦略育成事業」として、筑波大学が代表機関をつとめる「大学×国研×企業連携によるトップランナー育成プログラム」実施機関向けに行います。

本件問い合わせ先：  
筑波大学 若手研究者育成支援室  
tristar\_office@un.tsukuba.ac.jp